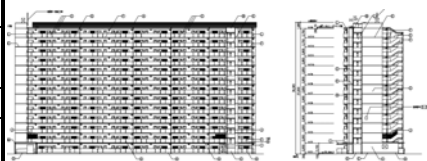


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府宮塚竹城台4丁目1期高層住	階数	地上13F
建設地	大阪府堺市南区竹城台4丁目2番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二	平均居住人員	478 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 0.0	評価の実施日	2015年3月3日
敷地面積	4,561 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 藤和設計 堀内
建築面積	800 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月3日
延床面積	8,313 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 藤和設計 下川



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 75%

③上記+②以外の 75%

④上記+ 75%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	府営住宅として、安全性・経済性を重視した良質な住環境を創出し、人と街にやさしい『まちづくり』を行います。	<b>その他</b> 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b>	各住戸には、南に面するバルコニーを設け、採光・通風を確保し、各住戸の遮音性能については、重量床衝撃音対策等級2を確保し、断熱性能については、省エネルギー対策等級3を確保しております。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 景観については、単調なデザインを避ける為、低層部と高層部には色彩の変化をつけております。また、死角の無い計画とする事で、防犯面にも配慮しております。
<b>LR1 エネルギー</b>	各住戸は、外皮に2方向(南面・北面)に面しており、自然通風・自然採光を確保する計画としております。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内には、雨水貯留施設を設ける事で、都市洪水等に配慮しております。
<b>Q2 サービス性能</b>	バリアフリー新法の『移動円滑化誘導基準』を満たし、車椅子利用者・高齢者にも配慮しております。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	杭については、高炉セメントをしようしてあり、床フローリング下地のパーティクルボードについても、リサイクル材を使用しております。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府宮堺竹城台4丁第1期高層住宅(建て替え)新築工事(第1工区)	BEE	BEEランク
	建設地	堺市南区竹城台4丁2番	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 8,313.44 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		2.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	